公益社団法人だて青年会議所 2016年度年間活動報告

JCI
（公社）だて青年会議所
2016年度広報だてJC
Web版　発刊第2号

2016年度　スローガン

Try and Change

～変化に対応できる人であれ！～

2016年度　理事長挨拶

2016年度
第36代　理事長
菅　野　　譲

2016年「Try　and　Change 変化に対応できる人であれ！」のスローガンのもと運動・活動を展開する中で、行政関係の方をはじめ関係各種団体の皆様に、多大なるご支援、ご協力を頂きましたこと心より御礼申し上げます。

そして、2016年は、伊達市合併10周年という節目の年に、伊達市合併10周年記念フェスティバル実行委員長という大役も務めさせて頂き、だて青年会議所が地域に深く携わることができたこと、本当に心から嬉しく思います。この経験が我々メンバーの自己成長へと繋がり、その成長が地域の力となり、地域の皆様と共に明るい豊かな社会を築き上げる大きな力に繋がっていくと確信しております。これからも引き続き変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。1年間ありがとうございました。

事業報告

5月事業 だての地方創生を考える講演会

だての地方創生を考える講演会を開き、講師に建築家の西村浩さんを招きました。西村さんは「これまでの価値観を見直す時が来ている」と強調。時代の変化を踏まえながら全国各地の「まちづくり」事例を紹介し、私たちに地方創生のヒントを与えてくれました。意見交換会では、市民参画のまちづくりについて自由にアイデアを出し合いました。

まちづくりにはハコものだけでなく、人のつながりや魅力的な事業が必要だと感じました。伊達地域の将来に向け、行政や市民など多くの人を巻き込んで意見を交わし、地域活性化につなげていきたいと思います。

新たな価値創造委員会

6月事業 ～ひとと地域のSMILEプロジェクト～ Let's いちご狩り

伊達市霊山町山戸田地区にて特産品のいちごを生かし、だて地域の豊かな資源を用いながら、子ども達が家族と触れ合う機会を創出し、また家族の絆を深めることを目的としていちご狩りを開催しました。だて地域の魅力を実際に触れ、経験してもらうことで、地域に暮らす市民が郷土愛を育むことに繋げることが出来ました。当日は、天候にも恵まれ、小さな子どもから大人まで約700名を超える市民に参加して頂きました。皆さん、笑顔になりながら楽しんで頂くことが出来ました。参加者の中には、実際にいちごが生産している姿を見ることが初めての方や、収穫する喜びを感じられた市民もおり、だて地域の誇りとしてもらえれば良いと思いました。

だて人創出委員会

8月事業

だてな太鼓まつり

8月20日・21日の2日間にわたり、保原総合公園にて「伊達市合併10周年記念フェスティバルだてな太鼓まつり」を開催いたしました。初日は不安定な天候の中でのプログラムとなりましたが、室屋義秀さんのアクロバット飛行やお笑いコンビのサンドウィッチマンのステージ、そしてINSPiなどのアーティストによる音楽ライブなどもあり、また2日目は快晴の中、霊山太鼓を中心にジバニャンショーや演歌歌手の大泉逸郎さんのステージショーなど、老若男女問わず多くの来場者に会場に足を運んで頂きました。2日間を通して多くの子供たちや学生ボランティア、飲食店や関係諸団体、そして行政にいたるまで、だて地域に住む人たちが結束して創り上げたこの事業は、約8万人の方にご来場いただく結果となりました。ご協力いただきました皆様、そしてご来場いただきました市民の皆様に心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。

新たな価値創造委員会

8月事業

だてのキッズ★夢羽ばたけ！
桃鯉プロジェクト

8月に行われた「伊達市合併10周年記念フェスティバルだてな太鼓まつり」内で、会場の保原総合公園内に特大鯉のぼりトンネルを作り、だて地域の子ども達に協力して頂き、鯉のぼり型のプレートに夢や希望をテーマに書いて展示しました。この事業は、だて地域の心を一つにし、小さな頃から協力し合う心を身近に感じられる機会を創出し、また、大人も子ども達が一丸となっている姿を見ることで、協力し合う心に共感し、ふるさとだての一体感をもつことに繋げることを目的に実施しました。旧7町を一つのだて地域として認識されるためには、子ども達の声・夢・希望を捉え、市民が一丸となり未来へ繋げる機会が必要と考えます。だて地域の子ども達、7600名の想いが詰まったプレートを熱心に多くの市民が見入っていました。

だて人創出委員会

8月事業

だてのNO.1を決める

だてを喰らいつくせ！

だてなグルメの祭典

D－1グランプリ2016

だての旨いもの大集合！

8月20・21日に保原総合公園で開催された「伊達市合併10周年記念フェスティバル」において、約50店舗の飲食店や市民団体が出店ブースを構え、「だてなグルメの祭典」を行いました。その中から、本年「D－1グランプリ2016」にエントリーしたのは約40店舗。本年の参加条件として、これまでの「だての食材を使用」に加え「だて地域をPRできる商品」として、幅広く商品開発に臨んでいただくべく募集をかけたところ、多くの飲食店や趣旨に賛同いただいた団体に応募いただき、盛大に開催することができました。来場者の投票により2日間で見事入賞された店舗には、2日目の表彰式でステージにて賞金・のぼり旗などが配られます。初日は時折雨が降り、客足にも少しばかり影響があった模様ですが、このD－1グランプリも5年目を迎え、徐々に認知されてきたこともあって、夕方には出店ブース前は多くの来場者で埋め尽くされました。また、今年は伊達市合併10周年と、目標来場者10万人にちなんで「D－1チャレンジ10」という企画を行いました。これは、出店ブースからの商品購入で10店舗制覇するとガラポン抽選会に参加できるという内容です。商品にはだて地域各地の施設や飲食店、またイベントなどで使える利用券、商品券などを集め、見事当選した来場者にも喜んでいただきました。結果は、D－1グランプリ2連覇中の「伊達の男串」が根強いファンから多くの票を集め、見事優勝を飾り3連覇を果たして殿堂入りとなりました。こうして2日間のD－1グランプリも大盛況のうちに幕を下ろすことが出来ました。ご参加いただいた来場者の皆様、そして出店にご協力いただいた地域の方々に感謝申し上げます。

新たな価値創造委員会

8月事業

だてな太鼓競演

8月20日、保原総合園において開催された「伊達市合併10周年記念フェスティバルだてな太鼓まつり」において、だて地域各地から太鼓関係団体18団体を集め、一斉に太鼓演奏を披露する「だてな太鼓競演」を開催しました。昨今の少子化に伴う地域コミュニティの希薄化により、各地の伝統芸能や太鼓の技術を伝承する次世代の子ども達が減少し、かつての賑わいに影を落とす地域も少なくはありません。だての未来を担う子ども達に伝統文化を守り伝えることは、故郷に対する誇りと愛着をもたらすものであり、世代間交流による地域住民の連帯感の醸成にも繋がります。当日は、昼の部と夜の部の二部制で各地に伝わる伝承太鼓をご披露いただき、改めて各地のPRと、太鼓を通して地域の一体感を来場者へ発信していただきました。昼の部では、冒頭に「和太鼓蝉創」による勇壮な太鼓がステージで披露され、グラウンドでは雨が降ったりやんだりのはっきりしない天候の中ではありましたが、なんとかすべての団体が演奏することが出来ました。夜の部では、18団体が一斉に自慢の太鼓を打ち鳴らし、その音色で会場全体が一体感で包まれました。初めての試みではありましたが、多くの太鼓関係団体のご協力で成功裏に収めることが出来たと思っています。ご来場いただいた市民の皆さん、そしてご参加いただいた太鼓関係団体の皆さんに感謝申し上げます。

新たな価値創造委員会

だてなエビルマンからの挑戦状

8月事業

今年も、学生や一般ボランティアの方、沢山のご協力があり「エビルマンからの挑戦状」を実施することが出来ました。

6月4日には堰本小学校、6月18日には梁川小学校で保原高等学校の美術部「がれきに花を咲かせようプロジェクト」の皆さんによるサプライズ黒板アートを実施し、多くの小学生の興味を引くことが出来ました。夏休み直前の7月には全小・中学校を始め、沢山の要所にエビルマンからの挑戦状である「宝の地図」が配付され、中を開くと、同じく美術部の学生が描いた表紙デザイン、各イラスト。また地域のボランティアが制作したキャラクターなど、魅力溢れるパンフレットに沢山の子ども達が心を燃やし、地域の歴史巡りのスタンプラリーに参加しました。

8月20日･21日､いよいよ保原総合公園で開催された「伊達市合併10周年記念フェスティバルだてな太鼓まつり」内のエビルマンブースでは、宝の地図を持ち、期待に胸を膨らませている子ども達で溢れかえり、なんと合計722人の子どもたちと、その家族の皆さんがお越しになりました。

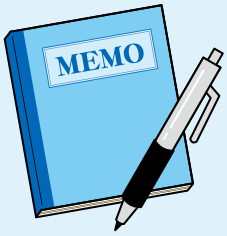
子どもたちは夏休みの期間、スタンプラリーゲームを通じて地域の歴史を学び、事業当日は、事業協力者のみでブース運営を行うことにより、参加者だけでなく、多くの当事者を増やし、事業を成し遂げることが出来ました。

最後に、保原高等学校の皆さん、福島大学の皆さん、仙台市の学生、郡山市のデザイン学校の学生、一般ボランティアの皆さんを始め多くのご協力頂いた方々に深く感謝いたします。ありがとうございました。

役員会

9月事業

新入会員セミナー



9月8日、保原町産業振興会館2階大研修室において、「新入会員セミナー」を行いました。　昨今、だて青年会議所のメンバーに多くの新入会員が入会しています。青年会議所の役割と動きを理解することにより、これからの実のある運動・活動が一層深まることに繋げようと、当日は新入会員のみならず、経験あるメンバーも参加し、改めて私たちの活動の意義を再認識しました。

だて人創出委員会

キックオフミーティング・懇親会

11月14日、セレビアスカイパレスにて2017年度ブロック大会inだて「キックオフミーティング・懇親会」を開催いたしました。

2017年、だて青年会議所は「第47回福島ブロック大会」を14年ぶりに主管いたします。その準備を進めていく中で、まずはだてJCの歴史を繋いできたOBの方々をお呼びし、一緒に連携し、共有していきたいという想いでこの場を作らせていただきました。当日は多くのOBの先輩方にご参加いただき、14年前に主管したブロック大会の内容など多くのお話を聞くことができました。メンバーそれぞれが来年のブロック大会に向けてだての地で行われる意義を心に刻み大会を構築していきたいと改めて感じることができました。

ブロック大会準備室

卒　業　式

卒業会員紹介

伊達市議会議員

菅　野　喜　明

2011 年に入会し、６年在籍いたしました。今年は、卒業生が１人しかなく、現役メンバーの思いのこもった卒業式をしていただき、大変感謝しております。

入会して２ヶ月後の３月 11 日、東日本大震災と東京電力福島第１原子力発電所事故に直面しました。私の住む伊達市霊山町小国地区は大変放射線量が高く、特定避難勧奨地点の設定と、それに伴う避難と地域の混乱が起こり、ＪＣ活動はほとんど出来ませんでした。また、霊山こどもの村の入場者は３万人から 300 人以下になるなど、ふるさとの危機に瀕しました。

次の年、福島ブロック協議会、総務委員会の副委員長という役職を受け出向し、様々な経験をさせていただきました。

その後、自分がリーダーとして震災・原発事故からの復興を後押しして行くべきだと考え、３年目で理事長をすることになりました。「明るく豊かなだての未来への復興」をスローガンに掲げ、１年間運動を行いました。震災から中止されていた霊山の山開き事業、100％例会、そして、初の２日間開催となった「だてな復魂祭 2013」。１万人以上の入場者を数え、また、姉妹都市や災害援助協定を結んでいる市町村を招待して、復興の状況を見ていただくようにするなど、運動に邁進しました。それは現在、「だてな太鼓まつり」として、２日間で８万人以上の入場者を数える事業になっております。

私の６年間の青年会議所生活で一番良かったことは、かけがえのない仲間ができたことです。全員が４番バッターのような素晴らしい才能とやる気を持った仲間に巡り会えたことは一生の宝物です。

６年間本当にありがとうございました！

新入会員紹介

福島民報社 伊達支社

笹　越　寛　人

４月から新入会員として入会しました。いわき市出身で、伊達に所縁はありません。たくさんの人と関わり、伊達が〝第二の古里〟となるように頑張ります。

KEIMERU 株式会社

清　水　恵　介

福島市で不動産業を営んでいるKEIMARU 株式会社の清水恵介です。自己成長の為、社会の為に積極的に活動していきたいと思います。よろしくお願いします。

八巻石材工業 株式会社

八　巻　広　史

今年度より入会させていただきました。まだまだ分らないことばかりですが、これからもＪＣ活動を通して地元に貢献し、そして自分自身も経験を積んで成長できればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

株式会社 渡辺工務店

渡　邊　一　紘

本年度入会から卒業まで、私は 10 年間だて青年会議所にお世話になるつもりです。

家族、会社、だての為にどのような人となれるかは、全て自身の気持ち、取り組み次第と思っておりますので、与えて頂いた機会を活かす為に日々の活動を大事にしていきたいと思います。

有限会社 宮口工業所

宮　口　　剛

2016 年度４月に入会いたしました宮口です。青年会議所運動・活動を通じて様々なことを学び、仲間との輪を広げ絆を深めながら事業を通して地域に貢献していきたいと思っております。よろしくお願いします。

株式会社 ベストワーク

小　野　翔　太

28 年度９月入会しました小野です。

JC を通してさまざまな事を学び、それを仕事や私生活などにも活かし自分自身の成長に繋げていきたいと思います。

たくさんご迷惑をかけると思いますが、今後ともよろしくお願いします。

なかま募集！

修練・奉仕・友情
よりよい「だて」をめざす。

■資　格
20 歳から 37 歳までの方

■問い合わせ先
事務局
ＴＥＬ：５７５－１５５４
ＦＡＸ：５７５－５０６４
E-mail：date.jc681@siren.ocn.ne.jp

私達と共に活動しませんか？明るく豊かな地域を創造するために！

次年度理事長挨拶

2017年度
第37代　理事長
阿　部　真　吾

2017年度、当青年会議所の理事長を務めることになりました阿部と申します。2011年に発生した東日本大震災の年に入会し地域の復興と共に歩んできた5年間ですが、次年度はこれまで青年会議所で培ってきた経験を活かし当青年会議所の代表として、これまで以上に魅力あるだて地域を発信していきます。また、2017年度は県内外から多くのメンバーや市民が集まる「第47回福島ブロック大会」がだての地で開催されます。この機会に、私たちの活動エリアである伊達市・国見町・桑折町の市民や行政とも連携し、地域資源から何をすべきか考え市民と共に地域をプロモーションしながらそれぞれの個性を最大限に活かし自立した魅力あふれる地域を創造してまいります。2017年もどうぞよろしくお願い致します。

現役メンバー紹介

理事長
㈱伊達丸コーポレーション
菅野　譲

直前理事長
㈲大石ガラス店
大石洋介

副理事長
齋藤電建工業㈱
齋藤　貴

副理事長
㈲グリーンすぽっと すし辰
山田　愛

監事
伊達市議会議員
菅野喜明

専務理事
㈲丸和保原タクシー
寺島大樹

事務局長
㈱ Lino Comnpany
加藤　徹

事務局次長
ECCジュニア西の内教室
大内はるか

事務局次長
ルームインテリア
大河内政志

財政局長
認定こども園大田
海老原　嗣

財政局次長
㈲高田木型製作所
髙田祐太

委員長
㈱水口家具センター
水口照章

副委員長
菊池総合事務所
菊池　研

副委員長
パティスリーLa 4区
渋谷郷美

委員
福島民報社伊達支社
笹越寛人

委員
Bオート
稲垣　勉

委員
㈱PAINT－K
菅野敏寛

委員
㈱ユー企画創建
齋藤裕巳

委員
福島信用金庫 保原支店
佐藤大樹

委員
KEIMARU㈱
清水恵介

委員長
㈱たじまや
阿部真吾

副委員長
㈱松葉園
大橋松太郎

副委員長
セブンイレブン保原1丁目店
滝澤由希

委員
大扇
小林信行

委員
大工のさとう
佐藤　瞬

委員
割烹　仙台屋
鈴木堅之

委員
福島民友新聞社 県北支社
富山和明

委員
㈱東邦銀行 保原支店
中野目賢一

委員
引地工務店㈱
引地　聡

委員
八巻石材工業㈱
八巻広史

委員
㈱渡辺工務店
渡邊一紘

委員
㈲宮口工業所
宮口　剛

委員
㈱ベストワーク
小野翔太

7 町 例 会

本年度の例会は、私達が活動する１市２町をよりよく知るために､1 ヶ月に１町（旧町）ずつ各旧７町へ出向き、会員それぞれが各町の魅力を再発見してきました。また開催地をテーマにした「ご当地３分間スピーチ」を行いました。メンバーの新しい一面を見る事ができるだけでなく、深く各町の歴史や文化について触れられる有意義な時間となりました。

2017 年ブロック大会がだての地で開催されます。今回の７町例会を通して、他の地域と交流を持つ事ができ、またブロック大会の開催へ大きな一歩となる事業であったことを確信しています。

例会報告

１月	１月例会・総会・新年会
２月	７町例会　in　国見町
３月	７町例会　in　桑折町
４月	７町例会　in　伊達町
５月	７町例会　in　月舘町
６月	７町例会　in　保原町
７月	７月移動例会 （福島ブロック大会 in 原町）
８月	８月例会・総会
９月	７町例会　in　梁川町
１０月	７町例会　in　霊山町
１１月	11 月例会 キックオフミーティング
１２月	12 月例会・総会・卒業式

ブロック大会に向けて

2017 年、だて青年会議所は「第 47 回福島ブロック大会 in だて」の主管を担います。県内各地から多くの同志が相集うブロック大会はだて青年会議所の強みを生かした実り多い大会を実現します。私たちの活動エリアである伊達市・国見町・桑折町の市民や行政と連携し共に地域をプロモーションしながらそれぞれの魅力を最大限に活かした事業を行います。だて地域の市民の皆様においても青年会議所運動への認識を深めてもらう機会であると考えています。福島県の青年会議所の最大の発信の場であるブロック大会がこのだての地で行われる意義を参加者それぞれが心に刻み、市民とともに福島の魅力を体感することで、愛郷心を育める運動を展開して参ります。どうぞよろしくお願い致します！

編集後記

昨年末に多くの卒業生を見送り経験の浅いメンバーが多くなった 2016 年度ですが、今まで作りあげてきた継続事業を中心に、多くの市民や諸団体、行政関係の方々と共に活動を行うことができました。2017 年度は福島県内のメンバーがだての地に集結する「福島ブロック大会 in だて」･メイン事業「だてな太鼓まつり」の開催などを予定しております。我々の運動に関わって頂いた皆様に感謝申し上げると共に、さらに多くの方々と関わり合い、だて地域を皆で元気にして行ければと思っております。

JCI （公社）だて青年会議所
事務局／〒 960-0612　伊達市保原町字宮下 111-2
TEL：024-575-1554　FAX：024-575-5064
Mail：date-jc@siren.ocn.ne.jp
HP：www.jc681.com